



やまなみ

山形市立大曾根小学校
学校だより
令和3年7月24日
校長
No. 4 太田 千春

資源回収・環境整備活動を実施していただきました

6月13日(日)、PTA評議員・事業部の皆様を中心に、資源回収と環境整備活動を実施していただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、回収作業に児童は参加しないこととし、保護者・地域の方々だけの活動となりました。また、環境整備としては、グラウンドの側溝の泥上げをしていただきました。側溝の蓋を開けてみるとかなりの量の泥が沈んでおり、スコップ等できれいにしていただきました。早朝から御協力いただき、本当にありがとうございました。

本校は、今年で学校創立120周年を迎えます。コロナ禍にあり、様々な活動が制限されている中、日々の教育活動が保護者・地域の皆様方の温かい御支援、御協力のもとで行えていることを改めて感じました。現在、同窓会の方々と御相談させていただきながら、10月20日(水)の創立記念式典の準備を進めているところです。詳細が決まりましたら、改めてお知らせ致します。



「いのちの教育」旬間の取組み (6月1日~10日)

今年度の経営の重点の一つである「いのちの教育」の推進に係り、毎月1日を「いのちの日」に設定するとともに、6月1日から10日までを「いのちの旬間」に設定しています。期間中、全学年で重点項目である「生命の尊さ」「親切、思いやり」を取り上げた特別の教科 道徳 の授業を行いました。

第3学年、高橋淳子教諭の学級は、「心にひびくかねの音」を題材にした授業でした。友達に「小鳥をうちに行こう」と誘われた登場人物のアルベルト。気が進まないままパチンコでつぐみを狙いますが、教会の鐘を聞き、大声でつぐみを逃がします。間違っていると感じる物事を見過ごさず、よいと思うことを進んで行う判断力を育てることをねらいとした授業でした。学習を終えた峯田ひまりさんは、「アルベルトみたいないのちを大切にする人になりたい」と、自分の思いに気付いていました。



田植えをしました！

5月25日（火）、好天にも恵まれ、4・5年生が田植えに挑戦しました。種籾を蒔いてからおよそ一ヶ月。12～15cmほどに成長した苗を3～4本取って、親指、人差し指、中指でつまむように持って土の中に植えていきます。ほとんどの子供が初めての経験で、ぬかるむ田んぼに足をとられながらも、教えていただいたことに注意しながら丁寧に作業を進めていました。

大木万之助様、佐藤美紀夫様、庄司一朗様には、事前の準備から当日の御指導までいただきました。本当にありがとうございました。



あおむしくんは どこ？ 御協力ありがとうございました ～アゲハの幼虫を飼育中～ ～いじめに関する保護者アンケート～

学校の昇降口で、アゲハの幼虫を飼育しています。山椒の枝について、もりもりと葉を食べ、元気に育っていた“はらぺこあおむしくん”でしたが、14日（月）の朝、その姿がどこにも見あたりません。どうしたことかと、登校してきた子供たちといっしょに辺りじゅうを探していたところ・・・「あっ、いた！」。何と、山椒の枝を下り、近くにあった花瓶置きの脚に、さなぎになってつかまっていたのです。その後も探し続け、思い思いの場所へ移動し、さなぎに変身した“はらぺこあおむしくん”を4匹とも無事に見つけることができました。羽化の時を、子供たちと楽しみにしているところです。



6月上旬、全校児童及び保護者を対象に、いじめに関するアンケート調査を行いました。その結果、新たに4件を「いじめ」として認知し、訴えがあった子供から担任が丁寧に話を聞いて事実確認を行い、行為を行った子供へ指導を行いました。

今年度の児童会のスローガンは以下のとおりになりました。子供自身が自主的にいじめと向き合い、その未然防止に取り組んでくれることを心強く感じています。学校では、全ての教育活動をとおして子供の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う対人交流能力の素地を養ってまいります。御家庭や地域でのお子さんの様子で何かお気づきのことがございましたら、いつでも学校に連絡をくださるようお願いいたします。

令和3年度児童会スローガン みんなが仲良くすごせる学校にしよう

みんなが仲良くすごすことでいじめもなくなるし、みんな笑顔になります。毎日が楽しい学校生活になってほしいという願いで、このスローガンにしました。